

おいしいポテチへ一丸 加工用じゃがいも定植開始

三原市の久井町ばれいしょ部会は3月中旬、加工用じゃがいもを植え付けを始めました。8月から販売開始する数量限定ポテトチップス



▲加工用じゃがいもを植え付ける(農)和草

プスの原料としてカルビーポテトと出荷契約を結ぶ3法人が約3.2haで栽培しています。

4月5日に植え付けを始めた同部会(農)和草は約1.5haで栽培し、10aあたり2tの出荷を計画。肥料効率の向上や雑草対策として一部でマルチ栽培を導入し、7月下旬を予定する収穫まで排水対策や防除など小まめな栽培管理を徹底します。

同法人の松本耕三代表は「出荷を始めて15年目を迎える今年もJAと協力して高品質なじゃがいもを栽培し、消費者にうれしいポテトチップスを届けられるよう尽力したい」と意気込みました。

レモン苗木定植 産地活性化へ

JAとJA広島果実連は4月11日、三原市佐木島で広島レモンの生産振興に取り組む鷺浦農園第4圃場にレモン苗木200本を植えました。同農園は、果樹生産の活性化を図り、耕作放棄地の解消や機械化による省力化、担い手の育成などを目的に果樹産地のモデル園として2018年から整備を進め、今回で約5haの規模になりました。

同日は地元生産者をはじめ、JA全農や大手食品メーカーなどで構成するニッポンエールプロジェクト協議会など70人が参加しました。



▲レモンの苗木を定植する関係者

た。収穫は1年後から始まり、本格化は2年目以降となる予定です。

柑橘農業塾開講 安定生産目指す

JAせとだ柑橘事務所は4月10日、尾道市瀬戸田町で「せとだ柑橘農業塾」を開きました。栽培未経験者や定年帰農者、技術向上を目指す20〜70代の27人が受講。JA広島果実連の松浦道郎技師が各品種の特徴や春先から本格的に始まる栽培管理について講義しました。

同塾は、安定生産や成歩率向上を目的に年間を通して毎月実施。温州ミカンには糖度11以上、中晩柑類は大玉生産を目標に、作業時期



▲講義する松浦技師

青壮年連盟・女性部 総会

JA青壮年連盟三原地区本部とJA女性部三原地区本部は4月中旬、三原市でそれぞれ総会を開きました。昨年度の活動や収支決算を報告し、今年度の活動計画や収支予算などを承認しました。

同連盟は、今年度も引き続き地

域活動に積極的に参加し、食農教育活動を継続して取り組むことなどを計画。盟友間での情報交換、相互交流を深める場として積極的に勉強会を開き、営農技術の向上や見識の拡大を目指します。

同女性部は、JA全国女性組織



▲4/17挨拶をする猪上淳委員長



▲4/18挨拶をする下久保幸子部長

協議会の新3力年計画『あい♡』からはじまる『元気な地域』をみんなの力で『実践初年度として引き続きJA事業や地域活動へ積極的に参加し、地産地消や健康管理活動を進めることなどを確認しました。』



水 稲

【中干し】
中干しは、水田から水を抜いて土壌を乾かす水管理作業です。米の品質や収量を左右する重要な作業なので、中干しの重要性を再認識して米のさらなる品質向上を目指しましょう。

- 【中干しの効果】
- ①有害ガス（硫化水素、メタンガスなど）の除去・抑制
 - ②根の活力を高めて下層への根の伸長を促すことによって対倒伏性や対候性を高める
 - ③余分な窒素肥料の供給を抑制して過剰分げつを防ぐ
 - ④土壌を硬くして施肥や刈取りなどの作業性を高める

【中干しの方法】

中干しは、2葉以上ある茎が1株20本程度確保できた頃（田植え後40〜45日程度）を目安に実施し、2週間程度継続します。ただし、幼穂形成期（出穂30日前）までには終了しましょう。

中干しの程度は、表面に小さな亀裂が入り、足跡がつく程度とします。土

壤表面が白く乾いて、大きな亀裂ができると、根が切断されて生育に悪影響を及ぼします。適度に入水して、乾かしすぎないように注意しましょう。

中干し終了後は走り水を行ない、徐々に間断かんがいへ移行してください。登熟期間中は足跡に水が溜まる程度の飽水状態を維持しましょう。

【けい酸】

けい酸は、健全な稲体をつくるために重要な養分で、幼穂形成期から吸収が活発になり、倒伏軽減・高温障害対策として高い効果を発揮します。

基肥等で施用されていない方は、出穂45〜35日前に「けい酸加里プレミア34」を10a当たり20〜40kg程度施用しましょう。

【除草剤】

中干しを行なうと、除草剤の効果が切れます。雑草の多い圃場では中後期除草剤の使用を検討しましょう。使用される際は、有効成分の使用回数や使用時期などに注意してください。

柑 橘

6月は生理落果が盛んとなり、新梢の葉が硬化する時期です。梅雨時期に入るため、作業が遅れないよう注意しましょう。

○表年の温州みかんの摘果

本年の着果量が多い樹では次年度

の着果を確保することを目的に6月から摘果を行なってください。摘果の方法は早生温州が樹冠上部1/3全摘果で、いしじ温州は枝別全摘果で実施してください。摘果後に発生する夏芽は次年度の結果母枝として利用するため、切らずに残しておきましょう。

○中晩柑類の摘果

生理落果の終わる6月下旬から荒もぎ摘果を始め、摘果必要量の8割を目安に行なってください。

○病害虫防除

・黒点病

黒点病は枯れ枝が伝染源となつて降雨により果実に感染します。薬剤散布の目安は前回散布から30日後となります。なお、散布後に200〜250mmの降雨がある場合は再散布が必要となります。

・アザミウマ類

アザミウマ類の発生が多くなる時期になります。温州みかん・中晩柑類は6月上旬〜中旬に、レモンは6月下旬を目安にスピノエースフロアブルを5,000倍で散布しましょう。



▲レモンアザミウマ被害果

落葉果樹

摘果・摘粒・摘房

作業の目的

- ・花芽分化に必要な樹体養分を確保し品目によって隔年結果を防ぎ連年安定生産させる。
- ・着果数を適正に管理し果実の大きさや商品性の向上を図る。
- ・新梢を適度に生育させて樹勢の維持を図る。

主な品目ごとのポイント

ブドウ：1回目のジベレリン処理が終わわり、実止まりが確認できたら樹勢の弱い樹から摘房を行ないます。また、2回目のジベレリン処理までに房の整形を行ないます。穂軸の長さは、2回目のジベレリン処理時点で、ピオーネ、シャインマスカットが約6cm、マスカットベリーAで約7cm程度が目安となります。房の長さの調整が終了したら摘粒を行ないます。摘粒では、小粒果、奇形果、変形果、内向き果、飛び出し果を除去し房型を整えます。ピオーネやシャインマスカットは40粒、ベリーAは80粒程度を目安に実施します。

モモ：仕上げ摘果終了後、再度適正着果量かどうか見直し摘果を行ないます。中果枝（20〜30cm）で1果、長果枝（30cm以上）で2果、短果枝群（10cm前後）で5〜6枝に1果程度を目安に実施します。また、

摘果の見直しをしながら「袋かけ」を行います。

カキ：開花が終了したら生理落果が始まります。生理落果終了後、奇形果や病害虫被害果、発育不良果、傷果などを中心に摘果します。着果が多く摘果が少なければ翌年の着果量にも影響します（隔年結果の助長）。

キウイフルーツ：長果枝では3〜4果、中果枝では2果、短果枝では0〜1果程度を目安に摘果を行ないます。摘果する果実は、奇形果や扁平果などを中心に行ないません。

イチジク：基本的には摘果作業をする必要がありません。

新梢の管理（芽かき・摘心・捻枝・誘引・副梢の管理）

先月に引き続き、発生状況を確認しながら、込み合っているところは芽かきや枝抜き、枝の伸長を抑制させるための摘心や捻枝などを行ないます。また、副梢（わき芽）の発生がみられたら1〜2枚で摘心するか、込み合っていれば除去します。

排水対策

梅雨の降雨により、圃場内に滞水することがあります。滞水により根の生育阻害や根傷みで樹勢低下を招くおそれがあります。滞水しないように溝切りや排水路の整備をします。

病害虫対策

気温も上昇し、梅雨の降雨で病害の多発が懸念されます。また、害虫の活動も活発になってきます。天候や園地の発生状況を確認し、収量確保や高品質生産のため防除対策を徹底します。

注意する主な病害虫

ブドウ：灰色かび病、ベト病、晚腐病、褐斑病、アザミウマ類（写真1）等

カキ：落葉病、炭疽病、カキノヘタムシガ 等

モモ：灰星病、黒星病、シンクイムシ類 等

イチジク：そうか病、カミキリムシ類（写真2） 等

キウイフルーツ：果実軟腐病 等



▲写真1 ブドウのアザミウマ被害果



▲写真2 イチジクを加害するキボシカミキリ

家庭菜園

夏野菜の定植や生育は順調ですか？夏野菜を代表するトマトやナス、キュウリなどの果菜類は長期間収穫が可能な野菜です。しかし、長期間収穫を行なうためには適切な管理が必要となります。今月はその適切な管

理についてご紹介します。

一番果の摘果と早採り

生育初期は、株を育てることが重要となります。果実を付けてしまうと株を成長させる事よりも果実を成長させることにエネルギーを費やします。株が十分に育たないと葉や茎、根の生育が遅れることによって生育期間も短くなり収穫量の低下も引き起こす可能性があります。そのため、一番果は早めに収穫しましょう。また、一般的には一番花が開花してから2週間〜1カ月程度は果実を大きくさせすぎずに収穫していきましよう。株の生育が旺盛な場合はこの限りではありませんので、樹勢を見ながら判断をしてください。

排水・病害対策

排水不良や降雨により湿度が高まると病原菌が繁殖しやすい環境となります。さらに、酸素不足により根が傷み、株が弱ってしまふと病気に感染しやすくなってしまいます。特に梅雨時期には、軟腐病にかかりやすくなりますので、圃場内に水がたまらずに水が排出されるように水の通り道を作りましよう。排水路に向かって傾斜をつけることで排水がされやすくなります。また、病害対策として早めの防除を心掛けましよう。梅雨に入ると連日の降雨により防除が出来なくなります。さらに、降雨による土の跳ね返りも病害の発生を助長する要因となるため、マルチや敷き藁

などを使って土の跳ね返りを防ぐことも有効な病害対策となります。

追肥

夏野菜は栽培期間が長くなります。さらに、多くの夏野菜は栽培期間を通して常に果実を付けていくため、基肥だけでは肥料が切れてしまふことがあります。多くの場合は一番果の収穫が始まった頃もしくは一番果が大きくなり始めた頃に1回目の追肥を行ない、その後は2〜3週間毎に追肥を行ないます。しかし、省力型の肥効の長い肥料を使用している場合は、この限りではありませんのでやりすぎに注意しましよう。

整枝

枝葉が茂りすぎてしまふと風通しが悪くなり病害虫の発生を助長し、光が届かない内側の葉は光合成が出来ずエネルギーを消費するだけになってしまふます。整枝の仕方は作物によって大きく異なりますが、日当たりの悪い下葉は剪定を行ない栄養を果実に向けていきましよう。また、栽培期間中に枯れてしまふた枝や病気にかかってしまふた枝も早めに取り除きましよう。剪定を行なうときは、清潔なはさみなどを使って切り口が乾きやすい午前中に行ないましよう。

これから暑い季節がやってきます。水分をこまめにとって熱中症に気を付けましよう。

Information お知らせ

開催10年目!

親子で農業体験 in 三原 2025

三原市高坂町で5月10日、「親子で農業体験in三原2025」を開催しました!小学生親子12組33人が参加し、田植えを体験。裸足で田んぼに入り、苗を手を持ち真っすぐになるようひとつひとつ丁寧に植えました。9月には稲刈り体験を予定しています♪

おいしいお米に
なあれ!

初めての
田植えに
ワクワク!

田植機の
乗車体験も
実施!

たくさん植えたよ!

かがやき通信 女性部活動

4/28 【東部ブロック】
女性セミナー ～料理教室～

部員の得意メニュー「よもぎ入りおはぎ」を皆に知ってもらおうと、おはぎ作りを行ないました。よもぎの風味がこしあんと相性抜群!皆で楽しく美味しく頂きました♪



今月の1コマ



4/24 数量限定ポテトチップスのパッケージ写真を撮影しました!

7月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。
ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30～17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
				三原	三原西					カクイチ建物相談会	カクイチ建物相談会	三原					年金相談会 三原西支店	三原	三原					久井	三原					
				三原	三原西							三原西							三原西	三原西						三原西				
				本郷								本郷							本郷	本郷						本郷				
				久井								久井							久井	久井						久井				
				鷺浦								鷺浦							鷺浦	鷺浦						鷺浦				
				せとだ								せとだ							せとだ	せとだ						せとだ				
				竹原							久井	竹原							竹原	竹原						竹原				